

全天候・高耐久型常温合材

レミファルト ST

スパー77

レミファルトSTとは

アスファルト常温合材『レミファルト』は、1965年(昭和40年)に弊社が我国初めての保存型アスファルト常温合材として開発し、実用化した製品です。

「レミファルトST」は、従来品の性能を大きく改善した新しい全天候型・高耐久型常温合材です。

レミファルトSTの特長

- 1 カッターやハサミ等を使用しなくとも、手で簡単に開封できます。
- 2 使用に際して、舗装面・補修面への乳剤コーティングなどの前処理は必要ありません。
- 3 作業中に作業器具や転圧器具(自動車のタイヤやプレートコンパクター)には、殆ど付着しません。また、施工後もタイヤ等に付着して飛散することがありません。



1
手で開ける

2
そのまま均す

3
タイヤで踏む



安心して使用できます



特殊添加剤の働きで、品質が変化する心配はありません。



厳選された材料を使用し、確かな品質管理のもと、生産されています。



飛散したり、雨水で流されたりしません。

レミファルトSTの施工例

- 1 道路の舗装補修
- 2 家庭の玄関や通路、コンビニなどの小規模な駐車場の舗装補修
- 3 ガス管、水道管、電信電話線などの埋設工事後の路面復旧
- 4 鉄道、学校、病院、公園、工場などの施設敷地の舗装補修
- 5 ゴルフ場、遊園地、果樹園などの作業道・耕作道の舗装補修
- 6 舗装道路の剥離や、くぼみ、穴ぼこの補修、オーバーレイ



■ 着工前(亀甲クラック及び陥没)

■ 敷均し状況

■ 転圧状況

■ 完成



■ 雨天直後の施工

レミファルトSTの使用方法

- 1 ゴミや浮石等を取り除きます。
※湿潤路面や降雨直後でも施工可能です。
- 2 レミファルトSTを、袋から取り出す前に、袋の外からもみほぐし、内部の材料が柔らかくなるのを確認して、袋の切り込み部から開封します。
- 3 レミファルトSTを舗装・補修部分に入れてスコップ等で敷均し転圧します。
※専用の転圧器具がなくても、軽自動車等で転圧するだけで完了します。
- 4 後片付けをして、交通解放します。
※交通解放後の通行車両などにより、締め固めが促進されます。

レミファルトSTの取扱上の注意

- 本品は、天然骨材、アスファルトおよび石油系溶剤から成る常温合材であり、毒性はありませんが、幼児の手の届かないところで保存して下さい。
- 本品は、袋詰めのまま保存が可能です。袋に穴が空いたり破損した場合、使用できなくなる場合があります。
- 密閉室内に保管する場合、室内に着火源を近づけないで下さい。
- 交通量の多い道路等の穴埋め補修に用いる場合は、レミファルトSTを施工厚の2割程度余盛し充填後、既設路面と平坦になるように専用器具で十分締め固め、仕上げして下さい。
- 万一、誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けて下さい。また、目に入った場合は、水道水でよく洗浄した後、医師の診察を受けて下さい。
- 汚れたままの手で喫煙や食事をしないで下さい。
- 作業後は、必ず石鹸で皮膚の接触部分を洗って下さい。アスファルトが付着して落ちにくい場合は、布きれにしみこませた軽油・灯油等で汚れを取ってから石鹸でよく洗って下さい。
- 残材料は、そのまま放置しておくで使用できなくなります。また、一度開封したものは、早めに使用して下さい。時間が経つと固くなり使用できなくなることがありますので、なるべく袋全量を使い切ってください。
- 使用済みの空袋や残材料は、下水・河川・湖沼等に絶対に捨てないで下さい。処分に当たっては、自治体の条例や指導にしたがって処分して下さい。

株式会社 NIPPO

<https://www.nippo-c.co.jp>

本社 東京都中央区京橋1-19-11
技術研究所 埼玉県さいたま市西区三橋6-70
支店 北海道 ☎(011) 842-8866 中 部 ☎(052) 211-6578
 東北 ☎(022) 262-1511 関 西 ☎(06) 6942-5212
 関東第一 ☎(03) 5323-3677 四 国 ☎(087) 862-1152
 関東第二 ☎(03) 3471-0788 中 国 ☎(082) 568-6108
 北信越 ☎(025) 244-9188 九 州 ☎(092) 771-0268

お問い合わせは